

NIST 日本語プログラム



2年生から13年生までの生徒を対象に、国語としての日本語を必須科目として導入教育しています。

カリキュラムは、日本人生徒が自国の文化の価値を認識し、自らの確固たるアイデンティティを持つことを奨励するとともに、異文化に対する理解と寛容性を育むことも重要視しています。

この教育理念のもとに一貫した教育を行い、生徒の他校への編入・入学に際して十分に対応できる能力を養成しています。

教師は2名

生徒数 初等部 各クラス平均 8名

中等部 各クラス平均 5名

授業方式と教材

「話す」「聞く」「読む」「書く」そして「観る」の言語の基本能力を総合的にバランスよく養成することに重点をおき、授業では、生徒の知的興味と探究心を啓発するために、生徒が積極的に参加し学習できるようさまざまなアクティビティを実施しています。教材は、国定教科書、児童文学書、日本・世界文学作品、文学研究のための参考文献、歴史・文化・地理に関する副教材、新聞、雑誌、映画、DVD、CD、コンピュータなどを使用しています。

<p>日本語クラス授業日程</p> <p>* 初等部 2 - 6 年 (10 日サイクル授業) 4 日履修、各 80 分</p> <p>* 中等部 7 - 11 年 (10 日サイクル授業) 5 日履修 各 80 分</p> <p>* ディプロマ・プログラム 12 - 13 年 (10 日サイクル授業) 上級レベル 6 日履修 各 80 分 標準レベル 4 日履修 各 80 分</p>	<p>文化活動プログラム</p> <p>* インターナショナル・デー</p> <p>* 日本の祭日</p> <p>* 映画鑑賞：文化、教育映画</p>
--	---

<p>日本語プログラム参加条件</p> <p>2 - 3 年：教師が話す日本語が理解でき、指示に従うことができる。</p> <p>4 - 6 年：日本語を理解し会話ができる。小学 1、2 年位の読み書きの基礎がある。</p> <p>7 - 11 年：少なくとも小学 4 年生まで位の読み書きの能力がある。</p>
--

IBO 国際バカロレア機構規定の授業数

Year 2 - 6 (初等部)

IB PYP (初等課程プログラム) は 10 日間サイクル